

一般社団法人 鳴門板野青年会議所
2022年度 地域の魅力創造委員会

副理事長 塩津 孝弘

委員長 新居 優貴

現 状 分 析	<p>私たちの活動地域には様々な観光資源があり、世界遺産への登録を目指す鳴門の渦潮を筆頭に、潤沢な自然が育んだ有名な農産物や海産物を豊富に有しています。鳴門板野JCでは、事業を通して鳴門海峡、そして鳴門鯛を継続して発信してきました。県をまたぐ移動が徐々に緩和されている現状を鑑みて、鳴門に訪れ魅力を感じてもらえる場所を本年度は提供する必要がある、まちの活性化へと繋げていく必要があります。鳴門市のふるさと納税では前年度において、初年度と比べ約680倍に増加していることから、地域に愛着ある人や注目している人が増えているのは間違いありません。活動エリアの他の地域でも注目度の高い自治体もあり、悲観的になる結果ではなく、寧ろ現状の発信を止めることなく、新たな魅力を発見する時間的余裕も十二分にある今がCHANCEだと考えます。</p>
目指すべき状態	<p>■既存の魅力又は新たな魅力を発信することでまちの注目度が向上した状態。 ■釣り大会を通して鳴門鯛を今一度全国に発信し再び鳴門の地へと訪れてもらえる状態。</p>
連 携 概 要	<p>■まちの新たな魅力の発見・創造するための例会の企画・設営</p> <p>四国の玄関口である私たちの活動エリアの魅力を発見するべく、各地域の特色に着目し、それぞれのブランド力を知る必要があります。新たな取り組みや施設の建設が進む中、私たちが関わることで、課題点を見出しより効率的に効果を得る活動をし、地域全体の相乗効果を創出していきたい、鳴門市板野郡の新たな魅力の発見や発信に繋がることを目的とします。</p> <p>■釣り事業の企画・設営</p> <p>鳴門板野JCの柱となる事業「鳴門BIG夢釣りまつり」が昨年まで2年続けて中止となっていることから、本年度は何としても開催できるように、コロナ対策を徹底して企画します。全国的にも有名な鳴門鯛をターゲットにした本事業では、一昨年に1000件を超える申し込みがあり鳴門板野JCだけではなく、鳴門市を代表する事業を継続していくことを目的とします。</p>
S D G s	11、14、17
政 策 手 法	<p>■まちの新たな魅力の発見・創造するための例会の企画・設営</p> <p>数多くの魅力的なものに溢れている活動エリアにおいて、私たちは未知の可能性を切り拓いていかなければなりません。メンバー及び地域活動に携わるすべての方々の意思を共通のものとする事で、地域一体で発信体制を構築できる例会を開催します。既存の特産品でも再発信することで再注目のきっかけを創るなど、より効率的な手法を模索し企画いたします。私たちが地域を先導する団体になり、JCブランドの向上のために、持続的な地域活動をすることで、更なる発展に繋げることとなります。</p> <p>■釣り事業の企画・設営</p> <p>今まで協力していただいている漁協組合や、関係諸団体において現状抱えている課題点も多く、後継者不足や不漁等による売上高の減少が叫ばれています。本事業で持続的な発展をも見込むのであれば、私たちの持つ発信力を用いてシェアを上げマーケティングの一助を担う必要もあります。市内の複数箇所で鳴門鯛のPRをすることで、まちの発展に直接的に繋げていき、本市の経済が潤うような手法を構築します。本事業は本年度で12回目の開催となります。今まで培ってきた歴史と経験をメンバーに周知し、参加者並びに運営側も参加して良かったと全員に思ってもらえるよう、そしてまちの魅力の発信にFOCUSするために、本事業の齎す効果を発信することで地域の発展へと繋がる事業となります。</p>
パ ー ト ナ ー	<p>鳴門市、鳴門町漁協協同組合、堂浦漁協協同組合、ポイント、いはら釣り具、YGK、釣りビジョン、徳島新聞、リビング鳴門、四国放送</p>